鳥取大学医学部保健学科広報 アレスコ

No. 19
March 2021

アレスコ【ALESCO】とは古代ラテン語で

「成長する、発展する」という意味です。

INDEX

02…新型コロナウイルス禍のなかで

03…保健学科長挨拶

04…卒業生だより

- ●看護師として活躍する卒業生
- ●臨床検査技師として活躍する卒業生

06…看護学専攻 各講座のトピックス

08…検査技術科学専攻 各講座のトピックス

09…教育活動1 新型コロナ禍でのオンライン授業

10…教育活動2 博士前期課程大学院生の紹介

11…教育活動3 博士後期課程大学院生の紹介

12…学術·研究活動

- ●ゲノム医療と研究、大学院教育
- ●予防からQOL改善まで

13…地域貢献活動

- ●膝いきいき教室の取り組み
- ●まちの検査室
- 14…新任・退職教員からのメッセージ
- 15…令和2年度卒業研究演題一覧
- 16…令和3年度学年曆·学級委員
- 17…令和元年度後援会事業報告,令和2年度後援会役員名簿
- 18…令和2年度後援会事業計画·編集後記



新型コロナウイルス禍のなかで

今年度は、新型コロナウイルスの流行に文字通り翻弄 された一年でした。

感染者が比較的少なかった鳥取県でも、講義や実習だけでなく、大学でのさまざまな活動に大きな支障が生じました。 そんな慣れない状況のなか、学生たちも教職員たちもなんとか大学での学びを維持できるよう精一杯工夫し、試行錯誤した一年でもありました。

★看護2年生出席確認風景



★看護2年生授業オリエンテーション



★看護3年生授業オリエンテーション



★検査/年生授業風景



★検査2年生授業風景



★検査3年生授業風景



★検査 4 年生授業風景



保健学科長挨拶

コロナ対策と近況のご報告

保健学科長 網崎 孝志



新型コロナウイルス感染症の流行につきまして、皆様にお見舞いを申し上げますとともに、今年の保健学科の様子や近況をご報告申し上げます。

鳥取大学医学部保健学科におきましても、令和2年はコロナに明け暮れた1年でした。3月の卒業式は中止となり学位伝達式だけに縮小されました。毎年、学生さんたちが催してくれる謝恩会も、卒業生が断腸の思いで中止を決断されました。その時点では、代わりに秋に米子で同窓会をとの思いもありましたが、コロナ禍は長期化本格化しました。4月は、自宅でのオンライン授業受講でスタートしました。受講準備のお手伝いを学級教員が中心となりお世話したこともあり、比較的スムースに受講いただけたと思われます。2年生、3年生、4年生は、6月上旬に、対面授業を再開しました。臨地実習・臨床実習については、関係教員が奮闘し、感染拡大防止に最大限の配慮をしたうえで、教育機会の確保に努めました。鳥取キャンパスの1年生については、入学式の中止から始まり、これまでオンライン中心となっていますが、保健学科1年生の専門科目は、できる限り対面で実施し、少しでも、日常の大学生活を送っていただけるように努力しています。これらの実施方針は鳥取大学並びに医学部の感染症タスクフォースがそれぞれ常時検討を行い、流行の状況に応じ、十分な安全性を確保するよう即時対応をしています。

明るい材料としましては、医学系研究科の改組についてご報告いたします。令和2年4月に、それまでの生命科学専攻、機能再生医科学専攻、保健学専攻の各前期課程・後期課程を統合改組し、基礎医学知識の共通基盤に立脚した医科学専攻(前期課程、後期課程)が設置されました。保健・看護分野を専門とする学生については修士「保健学」または博士「保健学」を、その他は修士「医科学」または博士「医科学」を、それぞれ主に取得することになります。ゲノム医療など高度な医療への貢献が求められる中、基礎医学知識を共通基盤とする医科学専攻で学ぶことには大きな意義があるものと思われます。また、同前期課程のなかには、認定遺伝カウンセラー養成課程も認定され、資格取得の選択肢も増えました。現在は、保健学専攻と医科学専攻が共存しています。どちらの大学院生も感染対策を講じて、研究・勉学に励んでいます。

さて、令和3年の予定ですが、コロナウイルス感染症の流行で中断しておりました医学部創立 75周年・保健学科設置20周年事業を実施の予定です。サークル棟の新設や、記念講演会、記 念誌発刊などが計画されています。また、6月には鳥取大学の主幹で国立大学保健医療学系代 表者協議会の総会が開催されます。オンライン開催とはなりますが、準備を進めています。

保健学科では、これからも、保健、医療、教育研究でリーダーとなれるような人材の育成に努めてまいります。新型コロナ感染症対策については、学生、教職員の安全を第一に進めてまいります。皆様には、今後とも、ご指導、ご支援をいただきますよう御願い申し上げます。

卒業生だより

看護師として活躍する卒業生

森口 雅之 さん 看護学専攻 第5期生

はじめまして。私は大学卒業後大学病院で2年間働いたのち、 名古屋の精神科病院で働いています。精神疾患はまだ分かっていないことが多く、何が最も適した看護なのか現在も日々思慮を重ねております。大学にいた頃から将来的に専門看護師の資格もとれると良いなと漠然とした目標はありましたが、実際の臨床現場で様々な患者様と接するうちに具体的に卓越した専門性の必要性を感じ、大学院の専門看護師コースへ入学、現在は精神看護専門看護師として活動しています。あくまで資源の一つとして活動していますが、私の職場では初めての専門看護師なので、専門看護師はこんなことができる立ち位置ですよと認識していただ



くのに時間がかかっています。これからも精神障害を抱えた方が生きやすい社会を目指して、患者様に寄り添った看護をしていきます。

中村 篤典 さん 看護学専攻 第6期生

私は現在、鳥取大学医学部附属病院で勤務しています。入職時から 手術室勤務となり早 12 年目。地方でありながら最先端の医療を提供で きる本院で、たくさんの事を学ばせてもらっています。手術室看護師と言 えば、よくドラマで見る器械出しのイメージが強いのではないでしょうか。 医師が求める器械をその場の状況で考え、医師が手を出した瞬間に「パ シッ」と渡せたあの瞬間。そのカッコよさに憧れて入った手術室。知れ ば知るほど奥深く、やりがいのある手術室看護師には魅力がたくさんあり ます。現在その魅力を伝える立場でもあります。子育てとも両立し、今



後も看護師のやりがいを後世に伝えることができる看護師を育成できるよう尽力したいと思います。



卒業生だより

臨床検査技師として活躍する卒業生

松重 智大 さん 検査技術科学専攻 第12期生

検査技術科学専攻第 12 期生の松重智大です。大学卒業後、博愛病院に就職しました。現在は生理検査に携わっており、心電図検査、肺機能検査、超音波検査、神経学的検査などの検査や手術室で下肢静脈瘤手術のエコーガイド補助なども行っています。また、情報システム管理室員も兼務しており、他部署職員と院内の電子カルテなどのシステム管理業務も行っています。2018 年、2019 年には超音波検査士(循環器領域、健診領域)の資格を取得しました。今後も日々の業務、勉強に励み資格取得に努めていこうと思っています。ただ、勘違いしてはいけないのが、資格取得がゴールではないということです。資格取得後も自己研鑽を忘れてはいけません。知識、技術の向上が患者さんへの診療、診断の質向上につながることを常に意識してこれからも頑張っていきたいと思います。



児玉 晴香 さん 検査技術科学専攻 第15期生

検査技術科学専攻第 15 期生の児玉晴香と申します。 大学卒業後は大阪赤十字病院に就職し、現在3年目です。

私の勤める大阪赤十字病院は外来患者数 2100 人、病 床数 960 床という規模で検査数も多く、様々な症例を経 験することができるところが魅力の一つです。

現在は生理検査に配属となり心電図、呼吸機能検査、 脳波、聴力検査、乳腺エコー、採血等の業務をローテーションで行っています。仕事量も多く大変だと感じることも 多いですが、充実した日々を過ごしています。生理検査は 患者さんの協力が必要な検査も多いので、コミュニケーションをとりながら早く正確な結果を臨床に返すことができるよう心がけています。今後は超音波検査士や認定資格の取得を目指し、自己研鑽に努めていきたいです。



看護学専攻紹介 各講座のトピックス

基礎看護学講座

◆科学的思考を思考する

萩野 浩

人体は不思議が詰まった自然科学の宝庫です。ヒトを相手にする看護師には科学の心も必要です。看護学専攻には理系よりも文系の学生が多く、高校時代に実験をほとんど経験していない学生や、もともと実験を好きではない学生もなかにいます。そこで科学実験の講義を 1 年生の授業で米子で実施しています。この講義では PCR 検査や材料工学実験などの物理化学実験のほか、心理実験、触覚実験など、臨床実習につながる生理学実験まで幅広く行っています。実験を楽し

んで好きになること、科学的な考え方ができるようになることが目標です。科学的思考を持てるようにするにはどうしたらよいか、を思考しながら講義を組み立てています



成人·老人看護学講座

◆人として大きく成長できる臨地実習

酒井知恵子

新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、3年次後期から成人看護学実習Iが始まりました。成人看護学実習Iでは、慢性的な経過をたどる病を持つ人を受け持たせていただきました。机上の学習で得た知識と、演習体験から学んだ技術を統合して臨地実習に臨みましたが緊張のあまり学生は自分のことで精一杯です。患者さんから「失敗でやめると失敗。チャレンジし続けるといつかは成功する。」と言葉をいただき、人と人との出会いから教えていただくこと、看護専門職者としての自覚と責任を持つことの大切さを学びました。患者さんに寄り添う学生の姿を見ると頼もしく今後の成長がとっても楽しみです。



母性·小児家族看護学講座

◆小児の健やかな成長を支援する:卒業研究での学び 花木 啓一

皆、「研究」という言葉は知っていますが、「研究」が 実際に何を意味するかを知っている人は実は少ないので す。小児家族看護学分野では、4年生の課題研究を南前 教授、金山助教と花木が担当していて、皆さんの興味あ るテーマに沿って、それが「研究」になるように道案内し ます。最近のテーマは、自閉症スペクトラム障害と偏食、 不登校、プレパレーションの効果、小児がん患児と復学不 安、遊びと性格、長期入院患児への支援、幼児の生活習 慣、小児がん経験者の心理社会的適応、入院患児への遊 び環境の提供、遊びと将来の生き方、幼児向けキャラクター のメッセージ性、小児の食物嗜好などです。課題研究を終 えると、「研究」とは何を意味するのかが皆さんの意識の 中にしっかりと刻み込まれ、特に、卒後3年目頃に皆さん の大きな力となっていることに気づかれるでしょう。



地域·精神看護学講座

◆こころを迎えにいくケアを実践:精神看護学実習 髙間さとみ

精神看護学実習では、気持ちを伝えることが患者さんの心を支えることへ繋がり、かかわりそのものが看護ケアになることを学びます。時に"うまい"返答探しにとらわれながらも、関係性を通じて素直な気持ちを伝えられるように取り組みます。実習終了時も次の出逢いへと繋げていけるような関係性終結の機会です。自作のカードを用いて患者さんと一緒に日々を振り返る学生も多く、かかわりを通してこそ見いだせた患者さんのすてきなところなどが自身のことばで綴られています。学生の言葉です。「気持ちを伝えると、普段は言語的表出をされない患者さんの表情が和らいで、目線が合って、うんうんって二人で頷きました。患者さんの世界と少し通じられたのかなってうれしくて。気持ちを伝えるって、相手の人を同じ人として尊重し、尊厳を守ることに繋がるんですね!」

学生は言葉以上のメッセージを患者さんから 受け取りながら看護を 深めています。



検査技術科学専攻紹介 各講座のトピックス

生体制御学講座

◆医用工学・実習の紹介と今年度の対応

藤原 伸一

2年生の前期に履修する「医用工学・実習」では、電気回路の基礎や電気的安全対策など、物理学をベースとした内容を学びます。高等学校で物理を選択していない学生にとっては苦労の多い科目ですが、例年、物理の得意な学生を中心に、大変ながらもみんなで協力し、実習を楽しんでいる様子を見せています。なお、今年度の実習では3密対策のため、1学年41人を2グループに分け、3限目にAグループ、4限目にBグループといった形で、実習室内の人数を例年の半分に減らして行いました。また、講義や一部の実習については、急遽作成した音声付きスライドや実験の実演動画等で対応するなど、実習時間の確保に苦心しました。



病態検査学講座

◆病態免疫血清検査学実習 I の紹介

中川真由美

3年後期の病態免疫血清検査学実習Iでは、2年後期から3年前期までの講義で得た免疫学や輸血学の知識をもとに、風疹抗体検査や梅毒検査、ABO血液型検査をはじめとする輸血検査などの実習を行います。人の血液(血清)を扱うので実習時は手袋をし、検体などの扱い方についても細かく指導していきます。コロナ禍の現在はさらにマスクやフェイスシールドもつけクラスの半数ずつ交替で実習をしています。微量なμ L レベルの液量で検査を行うため学生も初めは苦労しますが、まじめで熱心なのでどんどん上達していきます。免疫反応は生化学反応と違って非特異反応が出やすく、結果の解釈にも注意が必要です。自分の手を動かすことで、手技が上達するとともに今までの講義内容がより確かな知識になっていくと思います。



教育活動1

新型コロナ禍でのオンライン授業

看護学専攻におけるオンライン授業

鈴木 康江

私の担当の助産分野では、丁度6月から8月末の第2波の辺りでの実習でした。そのため実習を例年通りに実施することができませんでした。新型コロナ感染症が県内で発生する度に市中感染は無いかなど、毎回丁寧な確認がされ実習を度々休止しながら進めていくという実習でした。助産実習に向けて、webでのミーティングでは、実習ができるかどうか、皆不安でしたが、皆で

こうして顔を見て話をすると少し安心しました。実習を補完するために、webで事例を展開したり、学内でシミュレーション実習をしたり、今までにない学習方法を行いました。人を対象にする分野ではやはり臨床実習に勝るものは無いと思いました。



検査技術科学専攻における オンライン授業

下廣 寿

前期講義は、コロナウイルス感染対策の影響で2週間遅れでのスタートとなりました。しかしその直後、近隣で感染者が発生し急遽対面講義が中止となり、米子キャンパスにおきましてもオンライン授業がスタート致しました。個人的には3月ごろからオンライン会議等がありましたので、比較的スムーズにオンライン講義に切り替えることができましたが、目の前に映る光景がいつもと異なり、少し戸惑を感じる日々でした。回数を増すごとに慣れて行き、学びを止めることなく前期を乗り切ることができました。一方、技術習得を目的とする実習では、やはりオンライン(オンデマンド含む)には限界があり、スケジュールを調整しながら3密を避けて乗り切ることができました。

学生は短時間でも手を動か す作業を加わることで、積極 性に増して実習に挑む姿が目 に付きました。この効果が来 年度に役立つことを期待して おります。



教育活動 2

博士前期課程大学院生の紹介

大学院で拓く未来

保健学専攻博士前期課程(看護学) 2年 吹野 信浩

私は「看護学生の保健師になりたい気持ちを強化した要因」について研究を行っています。これまで、多くの先輩や仲間、住民さんや先生に支えられ保健師として 10 年以上働き続けることができたので、これからは今までの感謝を後進に繋げていこうと教育の道を目指したことがきっかけでした。

大学院入学という一歩を踏み出したことで、新たな出会いや学びの楽しさの再発見により、自 分の目の前の景色・世界が広がる感覚を味わっています。今後、研究を活かし、新たに保健師と

なる人材の育成に尽力 していきたいと思って います。また、併せて 以前より興味のあった 海外の保健活動にも目 を向けていきたいと思 います。



大学院で培ったこと

保健学専攻博士前期課程(医用検査学) 2年 黒岩 駿也

私たちの研究室ではこれまでに脳波検査や超音波検査などの生理機能検査に関する研究を行ってきました。私は心臓超音波検査に関する研究を行っています。研究の進捗状況や今後取り組む ことなどについて担当教授や他の大学院生と定期的に議論を重ね、日々試行錯誤しながら研究活動を行っています。

また、私たちの研究室では附属病院で患者さんに対して超音波検査を行い、学生実習では教育補助員として保健学科の学生への指導も行っています。これらの経験を通して、生理機能検査に対する知見を深めることが出来ています。

修了後は大学院で 培った知識や探求心を 忘れず、将来的に医 療の発展に寄与する研 究を行いたいと考えま す。



教育活動3

博士後期課程大学院生の紹介

がんサバイバーを支援するための 看護の役割を模索して

保健学専攻 博士後期課程 2年 元井 希

看護師として日々がん患者さんに接する中で、仕事と治療の両立に悩まれ相談されることが多くあります。前期課程の研究に協力いただいた企業の方からも、職員のがん検診など健康支援が難しいとご意見をいただき、現在は「企業におけるがん検診とがんを患っている職員へのサポート」をテーマに研究に取り組んでいます。 さらに今年度は遺伝性腫瘍のワーキングにも参加させていただき、新たな学びの機会が増えたことに喜びを感じています。 前期課程の頃より課題も役割も増えましたが、職場の方の理解と協力を得て両立ができていることに感謝する日々です。 大学院

で得た学びを、がん患者さんが自分らしく生きることの支援に活かしたいと思います。



母子に優しい身近な存在を目指して

保健学専攻 博士後期課程 1年 大谷多賀子

新たな気持ちで大学院後期課程の出発をしようと思った矢先、世界中を震撼させたコロナ禍の 脅威に苛まれ、日常生活に大きな変化やストレスが身近で起こってきました。自分自身の研究テーマも少なからずその影響を受け、研究テーマを修正せざるを得ない状況となりました。私の研究テーマは、「ヒトの愛着形成において、児が啼泣するという動作に対し、子どもを持つ母親・父親が、どのような反応を示し、愛着形成にどのような影響を及ぼすか」です。日々の業務と大学院の研鑚は決して容易くはありませんが、領域を超えて共に学び合える仲間たちとの共有時間が得られる新鮮さを改めて実感しています。安心できる子育て環境の支援の一助となれるよう日々教育・研

究に研鑚を重ねて取り 組んで参ります。



学術·研究活動

ゲノム医療と研究、大学院教育

基礎看護学講座 笠城 典子

ゲノム医療が急速に進展しており、通常の医療にも取り入れられています。私は認定遺伝カウンセラー®(267名;2020年4月現在)として、遺伝カウンセリングに携わっています。 鳥取大学医学系研究科医科学専攻博士前期課程において認定遺伝カウンセラー® を目指す学生の教育を2020年度より開始し、学生3名が学んでいます。 私も講義、演習、実習を担当しています。

研究テーマはゲノム医療における医療者連携についてです。ゲノム情報に基づいた最善の医療 を提供しようとするゲノム医療には課題が多々あります。研究で得られた知見をゲノム医療、遺伝

カウンセリング、大学・ 大学院教育に還元して いきたいと思っていま す。



予防からQOL改善まで

病態検査学講座 加藤 雅彦

私たちの研究室では主に臨床研究を行っています。具体的には、生活習慣病(糖尿病、脂質 異常症、高血圧症)、肥満、心疾患患者さんの睡眠障害を主観的・客観的に評価したり、慢性 心不全患者の病態と治療に対する反応を超音波診断装置を用いて研究しています。最近では癌 患者さんの深部静脈血栓症(DVT)の有無を血管エコーにて術前評価し、易血栓性を呈する患 者さんの臨床的特徴を検証しています。常に実臨床で有益な情報を発信していけるよう意識し、 鳥取大学医学部附属病院循環器・内分泌代謝内科、消化器外科教室のご協力を頂き研究してい

ます。超高齢化社会で の全人的医療の実践に 向けて、患者さん中心 の多職種協働介入の質 を上げるべく日々研鑽し ています。



地域貢献活動

膝いきいき教室の取り組み

成人·老人看護学講座 谷村 千華

米子市根津整形外科医院、米子市長寿社会課との協同活動「膝いきいき教室」に取り組んでいます。コンセプトは、「みんなでワイワイ楽しく、膝に関する自己管理の方法を学ぶ!」で、身体機能や症状が改善することを目指しています。教室では、すごろく大会やクイズ、測定結果の提示、個々に合った運動の処方など、"おもしろそう・やりがいありそう・できそう"を感じてもらえる工夫を散りばめています。マスコットキャラクター「とりぴょん」は、参加者に"元気よく跳ねる"ほど痛みが楽になってほしい、つらい時には"羽ばたくことで膝を休める"イメージから生まれました。行政、他機関とも連携し、より地域の皆様の健康寿命の延伸の一助となれば幸いです。





まちの検査室

病態検査学講座 佐藤 研吾

保健学科看護学専攻、検査技術科学専攻の学生が、地域住民との触れ合いを通して『コミュニケーション学習』の重要性を、他専攻の学生と共同する事で『多職種連携』を体験する事を目的とした実践参加型実習の事業を実施しています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大規模イベントが中止となりましたが、看護学専攻の先生と協力し、小規模なイベントに参加させて頂きました。学生は事前に学習し、当日はリモート参加で住民から質問に答える形をとりました。このような状況下でも、時代の流れに沿った方法を模索し、地域医療へ貢献できるような取り組みを続けていきたいと思います。



新任・退職職員からのメッセージ

退任のご挨拶

母性·小児家族看護学講座 南前 惠子

私は平成5年4月に鳥取大学医療技術短期大学部看護学科に助手として採用され、保健学科への改組に伴い保健学科看護学専攻に異動し、現在まで28年間教育・研究に努めてまいりました。

その間、看護教育は大きく変化しました。大学での教育が一般的になり、看護師の活躍の場も施設から地域全体へ広がっていきました。変化に対応しながらも、看護の本質を見失うことのない教育を心掛けてきたつもりです。卒業生が活躍する姿を目にし、耳にするにつけ、うれしく



思います。在職中、多くの学生さんと接し刺激を受け、ともに成長することができたと感じております。

教職員はじめ皆様のおかげで、無事に定年の日を迎えますことに感謝申し上げます。 今後の保健学科の発展を祈念するとともに、引き続きご指導賜りますようお願い申し上げます。

新任教員紹介

母性·小児家族看護学講座 金山 俊介

令和2年4月1日より鳥取大学医学部保健学科母性・小児家族看護学講座に着任いたしました金山俊介と申します。私は、本学を平成20年に卒業してから、小児看護の臨床や教育、研究に携わってまいりました。研究では主に、神経性やせ症の当事者やそのご家族に対する支援について研究しております。今後は本学の教員として学生に小児看護や研究の楽しさが伝わるように精進してまいりますので、

どうぞよろしくお願い いたします。



病態検査学講座 臼井 真一

令和2年10月に医学部保健学科病態検査学講座に着任いたしました臼井真一と申します。私はこれまで岡山大学大学院保健学研究科で臨床検査技師の教育・研究に取り組んでまいりました。研究は血液生化学分野が専門で、肥満、糖尿病、脂肪肝、動脈硬化などをキーワードに、血清脂質代謝に関連した基礎および臨床研究に力を注いでおります。鳥取大学においても様々な先生方と共同研究を行い、大学全体の研究力の発展に微力ながら貢献していきたいと考えております。また、自身が臨床検査技師ということもあり、これまでの経験

を活かしつつ、引き続き検査技師教育の戦力になるよう努めて参ります。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



令和2年度 卒業研究演題一覧

基礎看護学講座

- 1. 出生前診断を受けた妊婦やパートナーの思いおよび医療者に対する要望に関する文献検討
- 2. 白ねぎ農業従事者の腰痛事情と対策-A農家でのフィールドワークをとおして-
- 3. 外来通院するがん患者の日常生活上の苦痛に関する文献研究
- 4. 治療を受けながら働くがん患者の就労における困難に関する文献研究
- 5. 脆弱性骨折患者の二次骨折予防に関する骨粗鬆症マネージャーの臨床判断の手がかり
- 6. 関節リウマチ患者に生じるうつ症状に対してどのような看護が必要か
- 7. 変形性膝関節症および関節リウマチの運動療法の効果についての文献検討
- 8. 関節リウマチ患者のセルフマネジメントと自己効力感の関連性についての文献検討
- 9. 関節リウマチの疼痛管理に対して求められる看護

成人・老人看護学講座

- 1. クリティカル領域で死を迎えた患者家族の心理に関する文献研究
- 2. 救命領域における看護師のジレンマに関する文献検討
- 3. 日本における高齢者の異状死に関する過去 20 年間の研究動向: KH Coder による Text Mining

母性・小児家族看護学講座

- 1. NICU 児の母乳育児の継続に関する文献検討
- 2. 緊急帝王切開術を受けた母親の入院中の心理的体験についての文献検討
- 3. 出産体験の満足度に影響する要因についての文献検討
- 4. 医療機関における周産期からのマルトリートメント予防支援についての文献検討
- 5. 不妊治療後妊婦における妊娠期の心理的特徴についての文献検討
- 6. 小児期の長期入院と成長発達の関連についての文献検討:小児への影響とその支援に着目して
- 7. 養育・家庭環境と小児の問題行動の関係に関する文献検討
- 8. 乳幼児期にある子どもの年齢と内服援助に関する文献検討
- 9. 幼児期の遊びと社会性の発達に関する文献検討
- 10. 慢性疾患をもつ入院中の患児に対する看護師の効果的な看護介入についての文献検討
- 11. 長期入院児を支える家族の心理状態に関する文献検討
- 12. 看護師のプレパレーションの実施を阻害する要因についての文献検討
- 13. 小児がん患児とその母親が復学に抱く不安に関する文献検討

地域・精神看護学講座

- 1. 家族支援に必要な訪問看護師のスキルとその課題に関する文献的研究
- 2. 在宅療養者を支える家族の思いに関する文献検討
- 3. 中学生・高校生の運動部活動がメンタルヘルスに与える影響に関する文献検討
- 4. 新人看護師の離職につながるストレス要因とストレスコーピングに関する文献検討
- 5. 地域高齢者の閉じこもり予防に関する一考察
- 6. 平時の感染症対策における保健師の役割についての文献研究
- 7. 災害時の避難所での感染症対策における保健師の役割についての文献研究

生体制御学講座

- 1. 認知症予防検診で頸部血管超音波検査を行う有用性の分析
- 2. アミロイドβ 1-42 とアルツハイマー病発症の関連性
- 3. TensorFlow を用いた医療データ解析
- 4. 脂質代謝異常
- 5. 成体マウス大脳皮質におけるオリゴデンドロサイト前駆細胞の解析

病態検査学講座

- 1. 膵臓癌により十二指腸狭窄を合併した剖検例
- 2. 新規抗菌薬ザバクサの各種菌株における MIC 測定
- 3. 飲酒やポリフェノール摂取が上腕動脈エコーを用いた内皮依存性血管拡張反応(FMD)に与える影響を検討する
- 4. PCR 法を用いた遺伝子多型解析
- 5. Cross-Mixing Test における Inhibitor パターンを示す疑似試料作製方法の検討

令和3年度 学年暦·学級委員

鳥取キャンパス 学年暦(1年次のみ)

事項	月日
学年開始(前期開始)	4月 1日(木)
春季休業日	4月 1日(木)~4月 7日(水)
全学共通科目説明会	4月 2日(金)
入学式	4月 6日(火)
各学部オリエンテーション	4月 7日(水)
前期・第1クオーター授業開始	4月 8日(木)
火曜日の振替授業	5月14日(金)
鳥取大学記念日	6月 1日(火)
前期(第1クオーター)予備日	5月29日(土),6月10日(木)
前期(第2クオーター)授業開始	6月11日(金)
木曜日の振替授業	7月26日(月)
月曜日の振替授業	8月10日(火)
前期(第2クオーター)予備日	7月31日(土),8月11日(水)
夏季休業日	8月12日(木)~9月30日(木)
前期終了	9月30日(木)
後期開始	10月 1日(金)

ı	事項	月日
l	後期・第3クオーター授業開始	10月 1日(金)
	水曜日の振替授業	11月 5日(金)
1	火曜日の振替授業	11月29日(月)
ı	後期(第3クオーター)予備日	11月13日(土),11月30日(火)
ı	後期(第4クオーター)授業開始	12月 1日(水)
ı	冬季休業日	12月25日(土)~ 1月 4日(火)
	火曜日の振替授業	1月 6日(木)
ı	月曜日の振替授業	1月12日(水)
ı	大学入学共通テスト試験準備による休講	1月14日(金)
ı	後期(第4クオーター)予備日	1月29日(土), 2月 9日(水)
ı	推薦入試による休講	2月 4日(金)
	金曜日の振替授業	2月 8日(火)
	卒業式	3月18日(金)
	春季休業日	2月 9日(水)~ 3月31日(木)
	学年終了(後期終了)	3月31日(木)
۰		

[※]休業日においても授業等を実施することがあります。

米子キャンパス 学年暦(2年次以降)

A	<u> </u>		
事項	月日		
学年開始(前期開始)	4月 1日(木)		
進級生オリエンテーション	3月31日(水)		
前期授業開始	4月 1日(木)		
鳥取大学記念日	6月 1日(火)		
前期授業及び試験終了	8月23日(月)		
夏季休業日	8月24日(火)~9月30日(木)		
	※看護学専攻3年次は8月24日(火) ~9月5日(日)		
前期終了	9月30日(木)		
ツ切人により亦正さて担人がよりませ			

[※]都合により変更する場合があります。

	\sim		
事項	月日		
後期開始	10月 1日(金)		
後期授業開始	10月 1日(金)		
カチル※ロ	12月29日(水) ~ 1月3日(月)		
冬季休業日 	※看護学専攻3年次は12月28日(火) ~1月3日(月)		
※ 押1≤業 ひょどき+ 胚分の フ	2月24日(木)		
後期授業及び試験終了	※看護学専攻3年次は3月4日(金)		
卒業式	3月 3日(木)(予定)		
春季休業日	2月25日(金)~3月31日(木)		
	※看護学専攻3年次は3月5日(土) ~3月31日(木)		
学年終了(後期終了)	3月31日(木)		

看護学専攻 学級委員

<u></u>				
	入学年度	学年	氏/名	所属講座
	令和 3年度	1年生	深田 美香 教授 / 藤原 由紀子 講師	基礎看護学
	令和 2年度	2年生	金田 由紀子 准教授 / 雑賀 倫子 講師	地域·精神看護学
J	令和元年度	3年生	鈴木 康江 教授 / 佐々木 くみ子 教授	母性·小児家族看護学
Ĭ	平成30年度	4年生	谷村 千華 教授 / 野口 佳美 講師	成人·老人看護学

検査技術科学専攻 学級委員

入学年度	学年	氏 名	所属講座
令和 3年度	1年生	二宮 治明 教授 / 仲宗根 眞恵 助教	生体制御学
令和 2年度	2年生	加藤 雅彦 教授 / 石黒 尚子 助教	病態検査学
令和元年度	3年生	網崎 孝志 教授 / 藤原 伸一 准教授	生体制御学
平成30年度	4年生	鰤岡 直人 教授 / 佐藤 研吾 講師	病態検査学

[●]両専攻とも1年生については、上記保健学科教員以外に、湖山キャンパスの教員数名が学級委員として学生の指導・相談の任にあたっています。

令和元年度 医学部保健学科後援会事業報告

1.教育助成

- 入学式関連
- ●入学式
- ●新入生オリエンテーション
- ●大学入門ゼミ(平成31年4月13日)
- 大学説明会関連
- ●オープンキャンパス(令和元年7月27日・11月9日)
- 教育関連
- ●新入生ふれあい朝食会(平成31年4月8日~12日)
- ●2年次学生と教員との懇談会
- ●優秀学生表彰
- ●看護学専攻・検査技術科学専攻へ助成
- ●全学共通教育協力金への助成

2. 国家試験対策

- ●看護師等国家試験対策模試
- ●臨床検査技師国家試験対策模試
- 3. 就職対策
- 教員による病院等の就職先への訪問
- 4. 医学部国際交流助成
- ●国際交流協定校との交流
- 5. 文化行事援助
- ●錦祭
- 6.後援会運営
- ●保健学科広報「アレスコ」発行
- ●後援会役員会

令和2年度 鳥取大学医学部後援会役員名簿

	役職名	氏 名	役職指定	学年(年次)
	会長	長谷川明彦		医学6年
	副会長	黒沢 洋一	医学部長	
	副会長	深田 巧		生命4年
	副会長	南川英貴		看護3年
	理事	森 輝美		医学3年
	理事	長尾 勝人		医学2年
	理事	中村 廣繁	医学科長	
/	理事	石賀 充		生命2年
	理事	初沢 清隆	生命科学科長	
	理事	足立 智彦		看護3年
	理事	澤本 太		検査2年
	理事	網﨑 孝志	保健学科長	/
	監事	梅木 美穂		医学6年
	監事	髙木奈美子		生命4年
	監事	澤口 早苗		看護3年
	会計	足立 学	学務課長	

令和2年度後援会事業計画(案)

1.教育助成

入学式関連

- ●入学式(開催せず、支出なし)
- ●新入生オリエンテーション(日程調整中)
- ●大学入門ゼミ(開催せず、支出なし)

大学説明会関連

●オープンキャンパス(夏は開催せず、秋は未定)

教育関連

- ●新入生ふれあい朝食会(開催せず、支出なし)
- ●2年次学生と教員との懇談会
- ●優秀学生表彰
- ●看護学専攻・検査技術科学専攻へ助成

2. 国家試験対策

- ●看護師等国家試験対策模試
- ●臨床検査技師国家試験対策模試

3. 就職対策

●教員による病院等の就職先への訪問

4. 医学部国際交流助成

●国際交流協定校との交流

5. 文化行事援助

●錦祭(開催しない予定、支出なし)

6.後援会運営

- ●保健学科広報「アレスコ | 発行
- ●後援会役員会(開催しない予定、支出なし)

編集後記

鳥取大学医学部保健学科広報アレスコ(ALESCO)第19号を発刊いたしました。

ご存じのように、今年度は新型コロナウイルスの流行により、多くの講義や実習をオンラインで行わなければならなくなっただけでなく、新入生の大学入門ゼミやスポーツ大会、入学式などの行事も中止せざるを得なくなるという、かつてない一年になりました。

そうした慣れない状況のなかでも、学生のみなさんや教職員一同が試行錯誤しつつ、さまざまな工 夫も行いながら大学での学びを深めていけたことは、それ自体が教育的効果のある良い経験になっ たようにも感じます。

ささやかではございますが、保護者および関係各位の皆様には、アレスコの記事を通じて、保健学科の「成長・発展(アレスコ)」の姿、ご子息、ご息女の学生生活の一端を感じ取っていただければ幸いに存じます。

保健学科広報委員 安藤 泰至

[発行責任者] 鳥取大学医学部保健学科後援会·鳥取大学医学部保健学科広報委員会 行 所] 鳥取大学医学部保健学科(〒683-8503 鳥取県米子市西町86番地) [発 行 年 月] 令和3年2月